

地域創造コース

<p>岡田 真美子 (教授) (文化環境学)</p> <p>平成 20 年度の ゼミ生 3 年生 5 名 4 年生 5 名 博士前期 3 名 博士後期 2 名</p> <p>ゼミ生受入れ 予定数 5 名</p>	<p>○ 専門ゼミの概要</p> <p>基本的立場：客観科学・社会科学を参照しながら、宗教的感性を切り口として環境における存在感の関係性、特に「人的ネットワーク」、「空間の履歴」の問題をその背景も含めて幅広く深く扱う。</p> <p>ゼミの進め方：文献購読・精読とディスカッションによる知的基礎体力養成と各自の研究の進捗状況報告・全体討議。ゼミ生以外のオブザーバー参加あり。</p> <p>キーワード：縁、日本文化、入浜権、合意形成、地域通貨、NPO、環境学習、県の政策 先行／並行履修科目：(必須)コミュニケーション系、文化人類学系(希望)化学系科目</p> <p>ゼミ生の就職先：ブラザー、兵庫リコー、JA、岡山信金、ジャパネットたかた、神野病院、読売 DM、(財)兵庫県中小企業振興公社、姫路 SOHO サポートセンター、創造学園エディック、タカタニ、HIS、ファイブフォックス、大学院進学</p> <p>ゼミ生取得資格：秘書検定 2 級、英語検定準 1 級、色彩検定 2 級、シスアド他</p> <p>○ 主な学部担当科目・大学院担当科目</p> <p>環境宗教学基礎、環境宗教学 I・II、環境文献購読、環境宗教学特論(大学院) フィールドワーク、科学と宗教(遠隔：環境人間学部以外)</p> <p>○ 卒業研究題目</p> <p>「介護事業と福祉政策」「ササユリの自生する環境－鉄・鉱山との関係から」「マイバッグ運動の現状とこれから」「学校給食における地産地消の取り組み」(H19)「器物妖怪－環境お化け」「ちよぼらというボランティア・スタイル」「実験動物慰安祭に見る環境思想」「LOHAS 研究」</p> <p>○ 修士・博士論文題目</p> <p>「インドネシアにおける維持可能な社会の構築」(博士)「社会事業家 城ノブ」「播磨の地域性とまちづくり」「日本型ネットデザインと地域ネットワーク」(修士)</p>
---	--